

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391

FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1

ダイキン工業(株) 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241

FAX. 06 (6349) 9865

『経営とは何か?』についての講演会を実施しました

2 月 16 日に、中小企業委員会・国際委員会共催講演会を、イハラサイエンス(株) 代表取締役会長中野様を講師に、『経営とは何か?』という題目で機械振興会館の会議室において実施致しました。

今回の講演会はリアルとWebと併用したハイブリット形式で行い、リアルで参加された方は14名、Webで視聴された方は158名と大勢の方に参加いただきました。

講演内容は、以下の通りです。

1. イハラサイエンス(株)について

1941 年油圧製品の中堅メーカーとして現在まで継続させているが、バブルの崩りや油圧が電動に



写真 1 中野会長様の講演状況

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

『経営とは何か?』についての講演を 実施しました・・・・・・・・・・	1
委員会開催・活動状況	
標準化事業・・・・・・・・・・	2
技術調査事業・・・・・・・・・・	5
国際交流事業・中小企業関連事業・・・・・	7
広報PR事業・・・・・・・・・・	7

振興対策事業・・・・・・・・・・	7
国・関連団体等会議・・・・・・・・・・	7
今後の主要行事予定・・・・・・・・・・	8
統計資料・・・・・・・・・・	12

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.ifna.biz/>

代わって行くことでの影響により 1999 年に倒産の危機に陥り、そこで私が経営を始めた。その後 I T バブル、リーマンショック、東北大震災などいろいろなことがあったが、結果として 4 年間で再建目標を達成させ、その後赤字無しリストラ無しで成長させ、売り上げは 50 億円を 250 億円まで伸ばし、50 億円の経常利益を出すまでの優良企業となるまでとなった。しかし、海外のファンドから狙われるなどのトラブルも発生している。

2. 経営とは

経営とは何かというものに定義付けはない。ただ、成長したかどうかはインプットとアウトプットの差異で確認できる。アウトプットとは売り上げや利益と一般に言われているが、それは違うのではないかと思っている。アウトプットは感動を作る、ファンを作ることだと思う。『喜嬉』の字のように人が喜ぶことがファンを作り感動を作り、そして更に努力に繋がり成長していくものだと思う。そのために 4 つのファンを増やすことが重要で、買ってくれるファン、売ってくれるファン、働いてくれるファン、支えてくれるファンができ、最終的に売り上げと利益へと結びつく。そのために大切なものとして、3 つの夢があり、夢を作り、夢を語り、夢を実現することだと思う。夢を作り語るということは戦略であり、夢を現実にするということは管理することである。現在の問題は夢が無いことである。夢が無いからどんどん悪くなってくる。私は経営学を信用しない。経営は学問ではない。トライ&エラーで大切な経験をできるものだ。例として、私は産経新聞の大きい部分はあまり読まず、小さい部分を読む。なぜなら夢を奪われないようにするためだ。重要なのは

- ①. 本質学 問題の根っ子を見極める。
- ②. 人間学 感動を得られるのは人間だけで、その感動をどのように得られるか注視する。
- ③. 実践学 上記①と②を実現するためにトライ&エラー繰り返すこと。

を見極めることである。

あとは、現実をどう捕らえるかということである。10 人の人間は全員違う考え方をする。それを考える上で大切なのが『縁』である。空間と人間と時間の連続した変化の中で『一期一会』というものがあり、これは『縁』によってなされる。自然現象や人為的な変化がいろいろとある中で『縁』を生かし変化を追随することができるが、その原点は『愛』である。このような繋がりの中で『縁⇄

愛⇄夢』によって、なされていくものではないだろうか。

3. 実際の経営

私が大切にしているものは 4 つの経営である。

- ①. 大ぼら経営
小ぼらではなく、大ぼらを出し、そこまで努力する。
- ②. へそ曲がり経営
皆がやっていることをやらない。皆と違うことをやって結果を出す。
- ③. 劇場経営
物事はすべてが一つである。一つ一つを区切って考えず、連続した一つの物語として考えなければならない。
- ④. Pull(引く)経営
海外の文化は Push(押す)であるが日本の文化は Pull(引く)であり、それが大切である。



写真 2 会場の状況

中野会長様

大変貴重なご講演をいただき、誠にありがとうございました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

標準化事業

~~~~~

油空圧継手・ホース分科会

日 時 2 月 1 日(水)、13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 岩崎主査以下 7 名(うちリモート:7)

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、ニッタ：塩田憲史委員から浅里信之委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR18869：定期見直し→継続(Confirm)、ISO/SR6149-4：定期見直し→継続(Confirm)、ISO/CD18434-3：CD 投票→コメントなし、ISO/DIS7241：DIS 投票→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/TC131/SC4/N1002：ISO/AWI8434-6 プロジェクトキャンセル可否の投票→賛成、ISO/FDIS16028：FDIS 投票→賛成、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した（「*ISO 関連情報」参照）。

春季国際会議に関して、当分科会が関係する ISO/TC131/SC4/WG が予定されているとのこと。

次いで、JISB2355-1（油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手—Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部—第1部：Oリングシールポート）の改正について討議した。対応国際規格（ISO_6149-1）の内容を確認し、改正内容を検討した。また、本 JIS 改正案件は JIS 原案作成公募にて採択となったとのこと。

最後に、来年度の活動計画について討議した。現在作業中の JISB2355-1 改正について、継続して審議することとした。

次回開催：4月20日、機械振興会館＋リモート

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 2月7日(火)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 浅里主査以下6名（うちリモート:6）

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した（「*ISO 関連情報」参照）。

次いで、昨年 11/24 開催（ウェブ会議）の、ISO/TC131/SC4/WG9 国際会議の報告があった。

次いで、JISB8381-2（空気圧用継手—第2部：熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手）について、改正内容の検討を行った。

最後に、来年度の活動計画について討議した。現在作業中の JISB8381-2 改正について、継続して審議することとした。

次回開催：5月22日、機械振興会館＋リモート

空気圧流量測定分科会

日 時 2月8日(水)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 妹尾主査以下8名（うちリモート:8）

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した（「*ISO 関連情報」参照）。

次いで、昨年 10/24 開催（ウェブ会議）の ISO/TC131/SC5/WG3 国際会議及び 11/9 開催（ウェブ会議）の ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議の報告があった。

次いで、ISO/TC131/SC9/WG2 のエネルギー評価規格化に関して、臨時の国際会議が 2/27 に開催予定とのこと。その際、プレゼンを要求されており、その資料について討議した。

次いで、JISB8390-2（空気圧—圧縮性流体用機器の流量特性試験方法—第2部：代替試験方法）の改正について、対応国際規格（ISO6358-2）の改訂内容を確認し、進め方について検討した。

最後に、来年度の活動計画について討議した。現在作業中の JISB8390-2 改正について、継続して審議することとした。

次回開催：6月8日、機械振興会館＋リモート

空気圧調質機器分科会

日 時 2月14日(火)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 土岐主査以下7名（うちリモート:7）

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票について、新規投票案件を審議し、ISO/SR5782-1：定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR6301-1：定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した（「*ISO 関連情報」参照）。

次いで、1/16 開催（ウェブ会議）の ISO/TC131/SC5/WG5 国際会議の報告があった。日本提案のサイレンサ規格に関して、Normative か Informative のどちらにするか投票することになったとのこと。

最後に、来年度の活動計画について討議した。来年度は、現在、日本提案を盛り込んだ ISO 規格化が進んでいるサイレンサ規格（ISO20145）の JIS 化を検討していくこととした。

次回開催：4月5日、機械振興会館＋リモート

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 2月15日(水)、13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 難波主査以下5名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR21018-3: 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR3968: 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/FDIS23369: FDIS 投票→賛成、ISO/FDIS11500: FDIS 投票→賛成、ISO/TR6049: WD のコメント収集→コメントなし、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/SR12669: 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR18237: 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/CD21018-1: CD 投票→賛成、ISO/DTR6057: DIS 投票→賛成、ISO/TC131/SC6/N907: ISO4021 改正の是非投票→賛成、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、昨年11/2&12/7開催(ウェブ会議)のISO/TC131/SC6/WG1 国際会議、11/3開催(ウェブ会議)のISO/TC131/SC6/WG2 国際会議、11/4開催(ウェブ会議)のISO/TC131/SC6 国際会議の報告があった。

次いで、ISO18413 (Hydraulic fluid power - Cleanliness of components - Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting) のJIS 制定について、原案作成作業を行った。

最後に、来年度の活動計画について討議した。来年度は、現在、作業中のISO18413のJIS化を引き続き進めることとした。

次回開催: 6月7日、機械振興会館+リモート

空気圧エアドライヤ分科会

日 時 2月27日(月)、13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 那須主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、エアドライヤのトラブルシューティングに関するガイドラインについて、昨年9月に発行されたとの報告があった。

次いで、今後のテーマとして、エアドライヤ関係の工業会規格の見直しについて、討議した。JFPS2007(エアドライヤ用語)は、まず、規格の全体構成を検討し、その後、内容について検討することとした。また、JFPS2006(大型冷凍式エアドライヤ試験方法)、JFPS2022(空気圧一湿り空気露点換算方法)、JFPS2024(エアドライヤの選定及び使用の指針)については、特に見直しの必要なしとなった。

最後に、来年度の活動計画について討議した。来年度は、JFPS2007の見直しを実施することとした。

次回開催: 8月4日、機械振興会館+リモート

空気圧コンタミ分科会

日 時 2月28日(火)、13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 田中主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議 事

主査の交代があり、SMC: 田中崇行主査からオリオン機械: 三井康夫主査に交代されることになった(次回から交代)。

前回議事録の確認後、ISO 投票について、新規投票案件を審議し、ISO/SR8573-8: 定期見直し投票→改訂(Revise)、ISO/SR8573-9: 定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、昨年12/8開催(ウェブ会議)のISO/TC118/SC4/WG1 国際会議の報告があった。

次いで、JISB8392-4(圧縮空気-第4部: 固体粒子含有量の試験方法)の改正について、対応国際規格(ISO8573-4)と比較しながら修正作業を行った。

最後に、来年度の活動計画について討議した。来年度は、継続してJISB8392-4の改正を実施することとした。

次回開催: 5月18日、機械振興会館+リモート

*ISO 関連情報

- ・2022年度のISO/TC131及びTC118/SC3&SC4 関連国際会議は、2月以降も幾つかのSC/WGでウェブ会議での開催が予定されている。
- ・2023年度のISO/TC131 関連国際会議は、春季(5/8-12): ドイツ・フランクフルト、秋季(10/16-20): アメリカ・ミルウォーキー、にて

開催予定。

- ・2023 年度の ISO/TC118/SC4 関連国際会議は、9/19-20：アメリカ・オースチン、その他（6 月、11 月）：ウェブ会議、にて開催予定。
 - ・今月開催された ISO 国際会議は下記の通り。会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。
- 2/22：TC118/SC3/WG4：ウェブ会議：日本参加者 5
2/23：TC118/SC4/WG1：ウェブ会議：日本参加者 1
2/27：TC131/SC9/WG2：ウェブ会議：日本参加者 2



写真 1 耐震実験の映像視聴

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

若手技術者懇談会

日 時 2 月 2 日(木) 11:00 ～ 17:00

場 所 見学会 Eーディフェンス

兵庫耐震工学研究センター
懇談会 川崎重工業(株) 西神戸工場
研修センター

出席者 妹尾部会長(空気圧)

兵藤部会長(油圧)

懇談会参加者 24 名

事務局 大熊

本年度第 2 回目の若手技術者懇談会を実施した。
参加応募者は 24 名であった。

J R 新神戸駅に集合し、チャーターバスにて Eーディフェンス 兵庫耐震工学研究センターへ 1 時間ほどで到着し見学会を実施した。研究センターでは内容と地震発生の実験状況や油圧による地震発生装置の見学を行った。その後、川崎重工業(株) 西神戸工場のご協力のもと、工場内の研修センターをお借りして懇談会を行った。また懇談会終了後 J R 明石駅の近くで懇親会も行った。懇親会は自由参加ではあったが 18 名と多くの方が参加され製品設計の考え方や仕事の取り組み方などいろいろな話をされていた。

1. 見学会

日本最大級の地震発生装置である Eーディフェンス 兵庫耐震工学研究センターの見学を行った。最初に各種の地震発生時の建物の倒壊状況や補器材を入れることにより建物の倒壊回避の状況の映像を視聴した。その後地震実験場と耐震発生装置の見学を行った。今回の地震実験場を見学した際、2 週間後に実験を行う 8 階建てのビルが設置されていた。



写真 2 地震実験場見学



写真 3 耐震発生装置見学

2. 懇談会

懇談会は川崎重工業(株) 西神戸工場のご協力のもと、研修センターで、実施した。懇談会の冒頭でご協力いただいた川崎重工業(株)殿に会社概要についてのご説明をいただき、その後全体を 5 グループに別れ個別グループ別懇談会を行った。最後に各グループでの懇談内容を各グループのリーダーに発表していただいた。

懇談のテーマは『油圧装置、空気圧装置、水圧装置の更なる活用法』で、テーマとしては難しいものであったが、各参加者は率先して意見を出し合ってグループごとの特色を出していた。



写真3 懇談会全体



写真4 グループ別懇談会

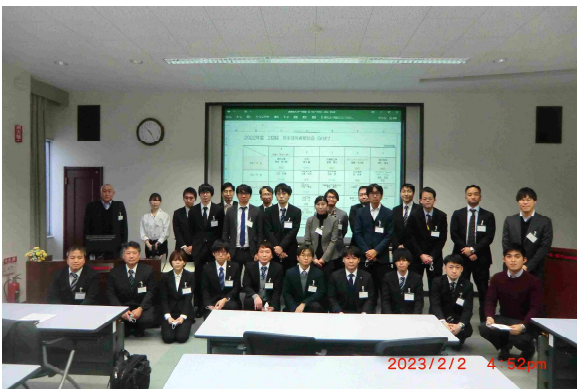


写真5 懇談会 全体集合写真

3. 懇談会終了後の参加者のアンケート結果

見学会については、耐震実験の見学については実験方法などが学べて面白かったが、振動発生装置については細かく見ることができず、物足りなかったとの意見が多かった。

懇談会については前回の懇談会実施した懇談会（2022年7月実施）より懇談時間を1時間程長く設定したためか、参加者は納得の行くまで話できたとの意見が多かった。

本懇談会への参加者は、工業会会員企業技術者の集まりであり、同業他社との技術に関する意見交換のため開示できない内容も踏まえたうえで、参加者は普段会話することができない各社との技術者との貴重な意見交換がで

き、大変良かったとのアンケート結果で多くを占めていた。

このアンケート結果については今後準備が出来次第、工業会のHP(会員サイト)にて開示する予定。

次回開催：2023年7月

水圧部会

日 時 2月10日(金)、13:30～15:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 内田部会長以下8名(うちリモート:8)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認し、特に異議なく承認された。

次いで、PRグループの活動報告があった。水圧ブログ4件(廣瀬バルブ工業:2、堀内機械:1、タイヨーインターナショナル:1)をJFPA ホームページに掲載したとのこと。今後は計画表に従って原稿作成すると共に、原稿作成完了次第、適宜掲載することとした。また、6月～9月のブログアクセス数の報告があった。各アクセス数は、10月:109回、11月:74回、12月:79回、1月:75回、とのこと。

次いで、MRグループの活動報告があった。展示会視察報告として、洗浄展2022(10/19～21)の報告があった。今後も計画表に基づき視察することとした。

最後に、来年度の活動計画について討議した。来年度の活動として、これまでの活動に加え、ユーザー訪問、大学研究室訪問、を追加実施していくこととした。

次回開催：4月17日、機械振興会館+リモート

技術委員会空気圧部会第599回特許分科会

日 時 2月17日(金) 13:30～15:00

場 所 Web 会議

出席者 井野幹事以下4名

事務局 吉田

議 事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。1件については調査を終了することとした。2件については引き続き調査をすることとした。(株)コガネイ殿より松本委員より下川委員に交代すること、オブザーバーとして五明様が出席したい旨申し出があり了承された。

次回開催：3月24日(金) Web 会議

~~~~~  
国際交流事業・中小企業関連事業  
~~~~~

国際・中小企業委員会共催講演会

日 時 2月16日(木) 15:00~17:00

場 所 機械振興会館 B3-2 会議室

事務局 大熊

・講演会

出席者 14名(機械振興会館にて)

158名(Webにて)

講演テーマ 経営とは何か?

(23年の経営から学んだこと)

講演者 イハラサイエンス㈱

代表取締役会長 中野様

・講演内容

(1, 2 ページ目参照)

・中小企業委員会 WG 活動報告会

出席者 11名(機械振興会館にて)

6名(Webにて)

・福島ロボットテストフィールド見学

(福島県南相馬市原町)

報告者 大生工業㈱ 小泉様

・福島水素エネルギー研究フィールド見学

(福島県双葉郡浪江町)

報告者 ㈱タカコ 奥嶋様

※報告内容につきましては、後日工業会の
会員サイトに掲載予定

~~~~~  
広報・PR 事業  
~~~~~

第101回編集委員会

日時 2月21日(火) 15:00~16:45

場所 機械振興会館 6-65 会議室

出席者 川瀬委員長他 11 名

事務局 饗庭、大熊

議事

1. 春号/夏号/秋号/新年号の進捗状況

新年号以降の記事が不足している。

2. 海外の窓の進捗状況

秋号のCKDが1年後に延期されたため、川崎重
工業とカヤバが繰り上げとなった。

3. 研究室訪問の進捗状況

新年号は常村委員であったが訪問予定の研究室
が空気圧であることから多田委員と交代となった。

4. 提案記事検討表の進捗状況

特に、「電動化が進む中でのフルードパワー業界
の進め方」について時間をとって活発に議論を交
わし大変有意義であった。それぞれが意見をまと
めて次回の委員会で再び議論することとなった。

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~

JIMTOF2022 第5回協賛団体説明会

日 時 2月8日(水) 10:30~13:00

場 所 機械振興会館 6D-4 会議室

出席者 唯根

議 事

日本工作機械工業会の柚原専務理事、東京ビッ
グサイトの津国常務取締役から主催者挨拶の後、
事務局から各項目について説明が行われた。その
中で終了直後に公表した海外来場者の速報値に誤
りがあり、一部修正した。その後、国内・海外の
来場者情報を精査した結果、国内来場者数は
109,343 人、海外来場者数は 4,815 人、総来場者
数は 114,158 人となった。また、会期直前に海外
出展者が 1 社 1 小間キャンセルしたこと、並びに
共同・内部出展者が 2 社追加されたことを受け、
最終発表時から、出展者数については 1 社増、出
展小間数については 1 小間減となっているが、過
去最大の出展者数、出展規模に変わりはない。
その他主要行事や企画展示、出展・来場者アンケ
ートの結果等を JIMTOF2022 結果報告書として纏
め、2 月末を目標とし関係各所に配信・配布する
事とした。最後に次回開催時に生かすべく、各協
賛団体と主催者にて質疑応答・意見交換を行った。

~~~~~  
国・関連団体等会議  
~~~~~

中国経済研究会(日機連主催)

日時: 2023 年 2 月 1 日(水) 14:00~15:30

場所: 機械振興会館 6D-4 号室 WEB

演 題: 「最新の中国動向」

講師: (公財) 日本国際問題研究所客員研究員
津上俊哉

出席者：藤原

第 83 回事業基盤研究委員会（日機連主催）

日時：2 月 15 日（水）14:30～16:00

場所：機械振興会館 6D-3 会議室 WEB

出席者：藤原

講演：「わが国の新しい原子力政策について」

講師：日本エネルギー経済研究所 原子力 GM

研究主幹 村上朋子 氏

第 83 回循環型社会研究委員会（日機連主催）

日時：2 月 21 日（火）15:00～16:30

場所：機械振興会館 6D-2 WEB

出席者：藤原

議題：講演：「DAC/BEC 等カーボンネガティブ技術(NETs)の動向

講師：（一財）日本エネルギー経済研究所

環境ユニット 気候変動 GM

研究主幹 田上 貴彦 氏

～～～～～～～～～～

今後の主要行事予定

～～～～～～～～～～

※2023 年

☆3 月 24 日（金）政策委員会

☆4 月 21 日（金）理事会・懇親会

☆5 月 18 日（木）定時総会・懇親会

☆5 月 19 日（金）JFPA ゴルフ懇親会

☆10 月 19 日（木）西日本支部総会・理事懇談会

☆10 月 20 日（金）ゴルフ懇親会

☆12 月 21 日（木）政策委員会

※2024 年

☆1 月 17 日（水）理事会・年始会

～～～～～～～～～～

2 月に開催された当会各委員会に出席された皆様
は以下の通りです。（敬称略）

～～～～～～～～～～

（標準化事業）

油空圧継手・ホース分科会

開催日 2 月 1 日（水）

出席者

主 査 岩崎宏文（イハラサイエンス）

委 員 金城良（東京計器パワーシステム）

〃 浅里信之（ニッタ）

〃 辻田智（日東工器）

〃 石井克昌（横浜ゴム）

〃 宮下暁（横浜ゴム）

〃 横岡慎吾（ブリヂストン）

〃 石附高（日本ホース金具工業会）

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 2 月 7 日（火）

出席者

主 査 浅里信之（ニッタ）

委 員 高梨暁人（SMC）

〃 藤原輝彦（コガネイ）

〃 井戸田健（CKD）

〃 細谷映之（アオイ）

〃 八手又秀浩（日本ピスコ）

空気圧流量測定分科会

開催日 2 月 8 日（水）

出席者

主 査 妹尾満（SMC）

委 員 川端啓之（アズビルTACO）

〃 森本光一（コガネイ）

〃 平田敏忠（TAIYO）

〃 久須祐典（ニッタ）

〃 高沢清継（日本ピスコ）

〃 香川利春（東京工業大学名誉教授）

〃 眞田一志（横浜国立大学）

空気圧調質機器分科会

開催日 2 月 14 日（火）

出席者

主 査 土岐真人（コガネイ）

委 員 赤羽啓一（アズビルTACO）

〃 檜垣匡光（SMC）

〃 阪上隆之（甲南電機）

〃 國崎雄嗣（CKD）

〃 高橋佑司（TAIYO）

特別参加 小田敏裕（甲南電機）

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 2 月 15 日（水）

出席者

主 査 難波竹己（日本ボール）

委 員 遠藤剛（SMC）

〃 三宅孝明（大生工業）

〃 長谷川康憲（油研工業）

〃 阪口拓也（MORESCO）

空気圧エアドライヤ分科会

開催日 2月27日(月)

出席者

主 査 那須一文 (SMC)

委 員 竹内則久 (オリオン機械)

〃 呉杉 (CKD)

〃 小山壽士 (日本精器)

空気圧コンタミ分科会

開催日 2月28日(火)

出席者

主 査 田中崇行 (SMC)

委 員 三井康夫 (オリオン機械)

〃 大場良太郎 (コガネイ)

〃 渡辺貴大 (CKD)

オブザーバー 前田卓郎 (SMC)

ISO/TC118/SC3/WG4 国際会議

開催日 2月22日(水)

出席者

委 員 金井陽二 (ヨコタ工業)

〃 久門崇也 (瓜生製作)

〃 田野功二 (瓜生製作)

〃 天野浩一 (瓜生製作)

〃 木村秀和 (瓜生製作)

ISO/TC118/SC4/WG1 国際会議

開催日 2月23日(木)

出席者

委 員 田中崇行 (SMC)

ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議

開催日 2月27日(月)

出席者

委 員 妹尾満 (SMC)

〃 眞田一志 (横浜国立大学)

(技術調査事業)

水圧部会

開催日 2月10日(金)

出席者

部会長 内田晃 (日本アキュムレータ)

委 員 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

〃 船坂新 (川崎重工業)

〃 高橋祐輔 (阪上製作所)

〃 茂木健 (三輪精機)

〃 光畑真一 (タイヨーインタナショナル)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 神田健一 (丸山製作所)

技術委員会空気圧部会第599回特許分科会

開催日 2月17日(金)

出席者

幹 事 井野雅康 (SMC)

委 員

〃 安田善仁 (甲南電機)

〃 松本啓佑 (コガネイ)

〃 下川一幸 (コガネイ)

〃 瀧 芳久 (CKD)

オブザーバー 五明里海 (コガネイ)

若手技術者懇談会

日 時 2月2日(木)

部会長 妹尾 満 (SMC)

部会長 兵藤訓一 (東京計器)

参加者 荒木 翼 (SMC)

〃 江口裕哉 (SMC)

〃 内藤大希 (SMC)

〃 荒井悠一郎 (油研工業)

〃 吉田和史 (日本アキュムレータ)

〃 宮崎俊太郎 (ポクレンハイドロリックス)

〃 八代純一 (川崎重工業)

〃 堂馬颯斗 (川崎重工業)

〃 三馬拓実 (川崎重工業)

〃 水落 桂 (大生工業)

〃 関根正樹 (大生工業)

〃 徳岡慎也 (廣瀬バルブ工業)

〃 所 宏美 (日立建機)

〃 吹留隼人 (日立建機)

〃 河合麗名 (CKD)

〃 池田樹之介 (CKD)

〃 寺田真衣 (神崎高級工機製作所)

〃 松本正幸 (神崎高級工機製作所)

〃 清水海斗 (堀内機械)

〃 和泉 享 (日本伸銅)

〃 堤 太郎 (日本ムーグ)

〃 稲吉克俊 (ジェイテクトフルード[®] ワークシステム)

〃 長谷部 輝 (小松製作所)

(中小企業関連事業・国際交流事業)

国際・中小企業委員会共催講演会

日 時 2月16日(木)

(中小企業委員会)

委員長 十萬幹雄 (神威産業)
副委員長 杉村登夢 (日本アキュムレータ)
委員 山本将人 (オックスジャッキ)
〃 向 恭男 (大生工業) ※
〃 野村伯英 (南武) ※
〃 小野慎一 (廣瀬バルブ工業) ※
〃 松井源太郎 (マツイ)
〃 三尾 行康 (三尾製作所)
〃 舘 満正 (神威産業)
〃 小泉加奈子 (大生工業)
〃 奥嶋一輝 (タカコ) ※
〃 風間英朗 (日本アキュムレータ) ※
〃 佐久間 信 (マツイ)
〃 保坂淳一 (理研精機) ※

(国際委員会)

委員長 新開 諭 (甲南電機)
副委員長 澤田啓支郎 (タイ・インタショナル)
委員 小坂篤夫 (イハラサイエンス)
〃 石渡雅史 (SMC) ※
〃 山崎真人 (廣瀬バルブ工業)

※印は Web 出席者

(広報・PR 事業)

第 101 回編集委員会

開催日 2 月 21 日 (火)

出席者

委員長 川瀬正裕 (カヤバ)
副委員長 本間伸一 (SMC)
主査 寺尾 剛 (カヤバ)
委員 浦井隆宏 (ホッシュ・レックスロス) ※
〃 多田昌弘 (CKD)
〃 常村憲史 (TAIYO) ※
〃 豊田敏久 (川崎重工業)
〃 松川正克 (阪上製作所)
〃 安永和敏 (東京計器)
〃 吉田将暉 (油研工業) ※

編集顧問 北川 能

〃 小山 紀

※印は Web 出席者

(振興対策事業)

JIMTOF2022 第 5 回協賛団体説明会

開催日 2 月 8 日

事務局 柚原一夫 (日本工作機械工業会)
〃 長濱裕二 (日本工作機械工業会)
〃 田中一彦 (日本工作機械工業会)
〃 秋山高昌 (日本工作機械工業会)
〃 本多啓子 (日本工作機械工業会)
〃 佐藤節子 (日本工作機械工業会)
〃 津国保夫 (東京ビックサイト)
〃 菊池 徹 (東京ビックサイト)
〃 本山大悟 (東京ビックサイト)
〃 三澤秋花 (東京ビックサイト)
〃 渡邊美紅 (東京ビックサイト)
〃 丸山紗英 (東京ビックサイト)

協賛団体 勝又 峰 (日本工作機械輸入協会)
〃 吉村昌成 (日本鍛圧機械工業会)
〃 大石哲也 (日本機械工具工業会)
〃 梅澤茂之 (日本工作機器工業会)
〃 松居秀樹 (日本工作機器工業会)
〃 貞方勝広 (日本精密測定機器工業会)
〃 大久 幸 (研削砥石工業会)
〃 佐藤正典 (ダイヤモンド工業協会)
〃 木村俊一 (日本光学測定機工業)
〃 富士原正義 (日本試験機工業会)
〃 伊川布美子 (日本歯車工業会)

産機建機部会

開催日 2 月 14 日

出席者

部会長 寺田 稔 (ダイキン工業)
委員 本高健治 (川崎重工業)
〃 前山宣則 (カヤバ)
〃 松井基幸 (島津製作所)
〃 橘高道治 (ダイキン・サーヴァー・ダノファス)
〃 香々美泰弘 (住友精密工業)
〃 上田真也 (ナブテスコ)
〃 手塚隆広 (油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<2 月>

1 日 (水)

・標準化 (委) 油空圧継手・ホース分科会

2 日 (木)

・若手技術者懇談会 7 日 (火)

・標準化 (委) 空気圧継手・チューブ分科会

- 8 日（水）
- ・標準化（委）空気圧流量測定分科会
 - ・振興対策事業 JIMTOF 協賛団体説明会
- 10 日（金）
- ・技術（委）水圧部会
- 14 日（火）
- ・標準化（委）空気圧調質機器分科会
 - ・振興対策事業 産機建機部会
- 15 日（水）
- ・標準化（委）油圧フィルタ・作動油分科会
- 16 日（木）
- ・国際・中小企業委員会共済後援会 17 日（金）
 - ・技術（委）空気圧部会第 599 回特許分科会
- 21 日（火）
- ・編集（委）第 101 回編集委員会
- 27 日（月）
- ・標準化（委）空気圧エアドライヤ分科会
- 28 日（火）
- ・標準化（委）空気圧コンタミ分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計
④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
